学校番号	１０８

令和２年度　芸術（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	学年	２年
使用教科書	高校生の美術２（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1. 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1年に引き続き、対象の観察、形態や色彩の適切な捉え方を学習します。
・観察力・造形能力の向上をめざすとともに、多様な素材を使用することで美術への興味関心を伸ばし、豊かな表現能力を養う学習を行ないます。
・制作後のレポートと全員での合評会で客観的な鑑賞学習を行ないます。

2. 学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b：発想や構想の能力	c：創造的な技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 鑑賞レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4. 学習の活動

学期	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	石膏鉛筆デッサン	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・人物石膏像を各自の選んだ位置から観察し、正確な形体、適切な構図や陰影を鉛筆で描写する。 ・全員の作品を相互鑑賞する。	○	○	○	○	a:観察の重要性や陰影表現の美しさに関心を持ち描写の基本行動に主体的に取り組もうとしている。 b:対象を観察し、形体の正確さや陰影の的確な調子をつかみ、構図や鉛筆による描写方法などを工夫して表現の構想を練っている。 c:鉛筆デッサンの目的を理解し鉛筆の特性を生かして表現している。 d:他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、相互評価と鑑賞レポートにより言語化し、表現への理解を深めている。	制作の様子 制作途中の作品 提出作品 鑑賞レポート

1学期	陶芸デザイン	【デザイン】【鑑賞】 ・ひもづくり技法でコップの制作。 ・呉須による絵付け、釉薬掛けを行なう。 ・相互鑑賞	○	○	○ ○	○	a:生活や社会を豊かにする美術の働きや陶芸の目的、作品の機能や用途、美しさを考えて表現することに関心を持ち表現や鑑賞の活動に対して主体的に取り組もうとしている。 b:実際に使用することを考え、作品の目的や機能、美しさ、使いやすさから制作主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 c:陶土の特性を理解し、手による技法、道具の使用方法などの特性を生かし表現している。 d: 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、相互評価と鑑賞レポートにより言語化し、表現への理解を深めている。	制作の様子 制作途中の作品 提出作品 鑑賞レポート
2学期	陶芸デザイン	【デザイン】【鑑賞】 ・ひもづくり技法で茶碗の制作。削り高台の技法を学ぶ。 ・呉須による絵付け、釉薬掛けをおこなう。 ・取っ手のついたコップの制作。色釉薬掛けで仕上げる ・相互鑑賞、文化祭での展示	○	○ ○	○ ○	○	a:生活や社会を豊かにする美術の働きや陶芸の目的、作品の機能や用途、美しさを考えて表現することに関心を持ち表現や鑑賞の活動に対して主体的に取り組もうとしている。 b:実際に使用することを考え、作品の目的や機能、美しさ、使いやすさから制作主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 c:陶土の特性を理解し、手による技法、道具の使用方法などの特性を生かし表現している。 d: 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、相互評価と鑑賞レポートにより言語化し、表現への理解を深めている。	制作の様子 制作途中の作品 提出作品 鑑賞レポート
	静物画	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・アイデアデッサン ・制作 各自で設定したモチーフを、適切な遠近感や材質感、色彩を用いて表現する。 アクリル絵の具の絵画的表現技法を取り入れ、陰影や空間の遠近感、質感の表現を学ぶ。 ・相互鑑賞 グループで作品の相互批評及び全体発表をおこなう。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a:各自で設定するモチーフの魅力や組み合わせの面白さ・美しさに関心を持ち、表現の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:対象を観察し、形体の魅力や正確さ、色彩による材質感・空間を工夫して表現の構想を練っている。 c:静物画の意図や目的を理解し絵具の特性を生かして表現している。 d:他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めている。 a:様々な芸術作品に触れることにより鑑賞する喜びを味わい、芸術作品の伝統や文化に関心を持ち、主体的に鑑賞に取り組もうとしている。 d:美術作品の良さや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを、自分自身の言葉や表現方法で文章化している	デッサン 制作途中の作品 提出作品 鑑賞レポート
3学期	インテリアデザイン　私のスペース	【デザイン】【鑑賞】 ・机と椅子アイデアスケッチ ・部屋全体アイデアスケッチ ・スチレンボードを用いて制作。素材の特性を活かしながら自分のイメージする空間を立体化してゆく。 ・縮尺を考慮し、自分にとっての適切な空間を表現する。 ・相互鑑賞 グループで作品の相互批評及び全体発表をおこなう。	○	○	○	○	a:生活や社会を豊かにする美術の働きやデザインの目的、作品の機能や用途、美しさを考えて表現することに関心を持ち表現や鑑賞の活動に対して主体的に取り組もうとしている。 b:身体のスケール感や空間の広さを認識し、目的や機能、使いやすさから制作主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 c:自分をとりまくインテリアやスペースデザインの目的を理解し、道具の適切な使用方法と材料の特性を生かして立体的に表現している。 d:モデルとなった相互の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めている。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞レポート 提出作品

＊表中の観点について　　a：美術への関心・意欲・態度　　b：発想や構想の能力
c：創造的な技能　　d：鑑賞の能力

＊原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行なう観点（もしくは重み付けをおこなう観点）について〇を付けている。